

緊急！市民集会

「思川開発事業と栃木市の水道水」

思川上流に南摩ダムをつくり、栃木市などの水道水に思川の水を水源に使う開発計画があります。計画が実現すると地下水を水源としている栃木市の水道水は、水質が悪化し水はマズくなり、それに加えて水道料金がかなり高くなってしまいます。これは将来の私たちの健康にとっても重大問題です。

この問題に深く関わってこられた専門家の報告を聞いて、私たちに何ができるかを考えたいと思います。ぜひ、誘い合わせ多数ご参加ください。

日 時 2016年4月30日（土）午後1時30分～4時

場 所 栃木市栃木文化会館 大会議室（栃木市旭12-16 ☎0282-23-5678）

内 容

<入場無料・申込不要>

I 報 告 1 「思川開発事業は本当に必要なのか」

嶋津 暉之氏（水問題研究家、元東京都環境科学研究所研究員）

2 「栃木県南市町の水事情」

高橋 比呂志氏（思川開発事業を考える流域の会事務局長）

3 「思川開発事業が栃木市水道水に与える影響と経費試算」

早乙女 正次氏（元栃木県職員）

4 「思川の治水問題と渡良瀬遊水地」

伊藤 武晴氏（思川開発事業を考える流域の会代表）

II 質疑応答と意見交換「今後私たちに何ができるか、取るべき道」

南摩ダムを含む「思川開発事業」は、52年前の「高度経済成長期」に計画され、着手しましたが、中断し、現在に至っています。当時と違って今は人口が減って、水の需要も減少しています。にもかかわらず、国、「独立行政法人水資源機構」、県は事業再開を視野に検討しています。必要性のない「ダム建設」に栃木県が約194億円利水・治水分を合わせも投入するムダを止めさせたい、そして栃木市が、思川の表流水を買わされるようなことをさせないために、緊急に市民が結集して、「南摩ダム建設反対」の声をあげましょう。

<裏面もご覧ください>

〔主 催〕 「思川開発事業と栃木市の水道水を考える会」

〔連 絡〕 栃木市片柳町4丁目16番1号 猿山弘子（TEL0282-23-1078）

まずくて高い水はゴメンだ！



～ダムって本当に必要！？～

地下水利用率が高い県南地域に、ダムで貯めた水をわざわざ使わせようとしている

栃木県。このいらぬ事業に **NO!** と言えない栃木市。市民の皆さんは、

どうお感じになりますか？



問題のダムは **“南摩ダム”**。鹿沼市の問題と思っていたら…大間違い！！

私たち“新”栃木市を始め、壬生町、下野市の市町民が**まずくて高い水を買わされる**ことになってしまいます。

計画自体に無理無理だらけのこの事業…生活に直結してしまう**“水問題”**に、皆さんは知らん顔はできませんよね！

県との関係が大切なのか、市民の生活が大切なのか、



栃木市の判断に注目していきたいですね。

☆ダム事業に使われるお金…想像できますか？

工事費・住民の方の立ち退き費用・ダム維持費・管理費・人件費…まだまだありますが、私たちのお金、「税金」を使うことになります。

☆必要のないダム建設は、ただの自然破壊でしかありません。

“とちぎの元気な森づくり県民税”の利用目的と相反する事業です。



放流工を作らないと南摩ダムには水が集まりません。

ダム以外にもお金がかかります。



講演会には栃木市以外の方にもご参加いただきました。

“水問題”に関して、皆さんの不安や熱い思いを感じました！

栃木市の皆さん！今すぐ反対の声をあげないと 生活も自然も守れません！

“いつやるの…？”“今でしょ！！”